

【基本的運営方針】 A 優れた作品の収集と保管

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント(評価の考え方)
コレクションの活用状況	コレクションの稼働率	25.0%	29.0%	116.0%	b	<ul style="list-style-type: none"> 特別展及び常設展において、当館所蔵作品696作品中平成29年度美術品取得基金で購入した全作品(7点)を含む202作品を展示し、展覧会内容に創意工夫を凝らしながら、効果的に活用した。 道外の美術館へ1件(14点)貸出しを行い、活用が図られたところだが、今後、さらに他の美術館に対して、所蔵作品の活用について、PRの充実に努め、所蔵作品の活用を図っていく必要がある。
	所蔵作品を他の美術館企画展で活用					
コレクションの充実度	収集方針に基づき、主体性を持ち積極的に収集活動を行う				c	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は受贈により4点の作品を収集した。いずれも収集方針に沿った優品であり、今後とも収集方針に沿った収集ができるよう作品の調査研究を継続する。
保管状況の適切さ	適正な保管環境を保持し、必要な調査に基づき措置を行う 計画的に所蔵作品の修復を行う				b	<ul style="list-style-type: none"> 収蔵庫や展示室の温湿度等を随時調査し管理することにより適正な保管環境を保持することができた。また、収蔵庫内の棚を修繕するなど、保管環境の改善を図ることができた。 適宜、収蔵作品の状態把握を行い、適切な管理が図られた。 収蔵作品の修復については、必要に応じ行っているが、今年度は早急に修復を必要とする作品はなかった。

【基本的運営方針】 Aの評価

評価	コメント(評価の考え方)
B	コレクションの活用、保管状況の適切化については、一定の成果を上げることができた。 また、コレクションの充実については、第4期収蔵計画の収集方針に基づく作品の収集ができるよう取り組みを進めていく必要がある。

【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標(計画)を達成している	b	B
目標(計画)をほぼ達成している	c	C
目標(計画)を達成できていない(努力が必要)	d	D
方法に再検討が必要	e	E

【基本的運営方針】 B 多彩で特色ある展示活動の充実

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント(評価の考え方)
常設展示の充実度	常設展示観覧者数	12,000人	11,434人	95.3%	C	・ 特別展示の観覧者数が伸び悩んだことも影響し、観覧者数は若干、指標値には届かなかったが、観覧者の満足度、リピート率ともに、目標を達成することができた。
	常設展示観覧者の満足度	80.0%	90.4%	113.0%		
	常設展示のリピート率	60.0%	63.7%	106.2%		
特別展示の充実度	特別展示の観覧者数	39,000人	31,504人	80.8%	C	・ 集客を見込んでいた展覧会での観覧者数が伸び悩んだことが主な要因で観覧者数は指標値には届かなかったが、観覧者の満足度、リピート率ともに、目標を達成することができた。
	特別展示観覧者の満足度	80.0%	93.1%	116.4%		
	特別展示のリピート率	60.0%	73.3%	122.2%		
入館者の拡充	美術館の魅力を広め入館者増につながる取組の実施				b	・ 夜間開館を実施したほか、ロビーコンサート等の事業を積極的に行うことにより、これまで美術館を訪れたことがない方など、幅広い層の関心を喚起することに取り組んだ。
展示の状況	展示のねらいが効果的に表現できているか				b	・ 「探検!?美術館」展では、美術館や展示の裏側を知ってもらい、美術館に興味をもってもらうことなどをねらいとし、美術館の裏側を案内する探検ツアーを行ったほか、作品運搬用台車や照明器具等の備品を展示するなど、展覧会ごとに、ねらいを効果的に表現するよう取り組んだ。
館外展示の充実度	移動美術館入場者満足度	設定なし	設定なし		C	・ これまで以上に、アートギャラリー北海道参加館等と連携を図り、館外展示の充実について取り組んでいく必要がある。
	その他の館外展示の状況					

【基本的運営方針】 Bの評価

評価	コメント(評価の考え方)
C	常設展示、特別展示ともに観覧者数は指標値には届かなかったが、充実した展示内容により満足度及びリピート率は目標を達成することができた。入館者の拡充に向け、今後も継続して様々な取り組みを実施していくことが重要であるとともに、常設展示への興味・関心を高める方策について検討していく必要がある。

【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標(計画)を達成している	b	B
目標(計画)をほぼ達成している	c	C
目標(計画)を達成できていない(努力が必要)	d	D
方法に再検討が必要	e	E

【基本的運営方針】 C 豊かな人間性を育む学習の場と美術情報の提供

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント(評価の考え方)
教育普及事業の充実度	教育普及プログラムの実施数	70回	68回	97.1%	C	<ul style="list-style-type: none"> ・ 展覧会の関連事業や解説を中心に計画的に実施することにより、実施数、参加者数、満足度ともに、概ね目標を達成することができた。 ・ 外部講師による講演会やギャラリートークの回数を増やすなど多様なイベントを実施し、事業の充実を図ることができた。
	教育普及プログラムの参加者数	2,500人	2,791人	111.6%		
	教育普及プログラムの満足度	80.0%	95.6%	119.5%		
	教育普及事業の状況					
美術情報提供の充実度	ARS、図書コーナーの利用者件数	700人	778人	111.1%	C	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書コーナーの利用者件数、満足度、HPアクセス数は、概ね目標を達成することができた。 ・ アートギャラリー北海道に係る情報発信の充実のため、HPの改善や館内で目立つ場所へのコーナー設置のほか連携館へのポスター、チラシ等の掲示、配布依頼等を積極的に実施した。 ・ 道立図書館と連携し、展覧会に関連する道立図書館所蔵資料(図書)を展示室内に配置する新たな取り組みを行った。 ・ ソーシャルメディア(ツイッター)の投稿数が少なく、情報発信に課題があることから、今後、情報発信の充実に向けた取組について検討し、積極的な情報発信に努めていく必要がある。
	ARS、図書コーナーの利用者満足度	80.0%	78.3%	97.9%		
	多くの来館者が利用できる図書コーナーの環境整備・保持					
	HPアクセス件数	47,000件	45,070件	95.9%		
	メールマガジン等発行回数	実施なし	実施なし			
	ソーシャルメディアの投稿数	170回	83回	48.8%		
	情報発信の状況					

【基本的運営方針】 Cの評価

評価	コメント(評価の考え方)
C	教育普及事業においては内容の充実を図ることにより、満足度が高くなっている。 今後、ソーシャルメディアを積極的に活用し、美術情報の提供について充実を図っていく必要がある。

【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標(計画)を達成している	b	B
目標(計画)をほぼ達成している	c	C
目標(計画)を達成できていない(努力が必要)	d	D
方法に再検討が必要	e	E

【基本的運営方針】 D 活動の基礎となる調査・研究の推進

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント(評価の考え方)
調査・研究の充実度	学芸員による調査報告				b	<ul style="list-style-type: none"> 学芸員による調査は、主に所蔵品に関する解説執筆や講話、特別展の企画内容、教育普及プログラムの企画等に活かされた。特に「NATURE & ART」展において、砂澤ビックキに関する調査研究の成果を展覧会でのギャラリートークや解説等に活かしたほか、美術館だより『氷華』に記録として残すなど調査研究の充実に努めた。 作家資料や図書資料等は継続的に収集・整理し、充実を図っている。
	二次資料の状況					

【基本的運営方針】 Dの評価

評価	コメント(評価の考え方)
B	調査研究や資料収集の成果を展覧会の展示構成や解説等に反映させるとともに、展示内容の充実が図られている。

【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標(計画)を達成している	b	B
目標(計画)をほぼ達成している	c	C
目標(計画)を達成できていない(努力が必要)	d	D
方法に再検討が必要	e	E

【基本的運営方針】 E 地域文化の振興

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント(評価の考え方)
地域の関係機関との連携状況	ボランティア団体等の主体的な事業の参加者数	実施なし	実施なし		b	<ul style="list-style-type: none"> 旭川美術館ボランティア「常磐会」と付帯施設運営、広報活動など様々な形で連携の充実を図っている。 旭川美術振興会、旭川市民実行委員会、北海道新聞社旭川支社と展覧会はもとより教育普及事業や広報活動など様々な形で連携した取り組みを行っている。 子どもたちが上川に由来のある芸術作品に触れることを通して郷土を愛する心を育むこと等を目的とした事業(児童生徒と保護者が別々に展覧会鑑賞等を行った後、親子一緒にシンポジウムに参加し、互いに感じたことについて親子で意見交換等を実施)を上川教育局主催により、当館と連携して実施した。
	ボランティアが活動しやすい場の提供					
	地域と連携した取組の状況					
学校との連携の状況	キャンパスパートナーシップのメンバー校数	2校	2校	100.0%	c	<ul style="list-style-type: none"> 指導者研修の延べ参加者数については、概ね目標を達成しているが、今後実施方法の改善等について検討していく必要がある。 学校教育活動への対応については、大学、中学校美術部と連携した取組である「地域連携アートプロジェクト」を継続して実施したほか、博物館実習、インターンシップ、職場体験を実施し、目標を達成している。 出張アート教室の延べ参加者数の達成率が低いのは、当館から遠距離にある離島の学校で実施したことにより、実施校数が減少(2校→1校)したことによるもの。
	出張アート教室の延べ参加者数	90人	47人	52.2%		
	指導者研修の延べ参加者数	50人	40人	80.0%		
	学校教育活動への対応数	6件	7件	116.7%		
	参加者・利用者満足度					

【基本的運営方針】 Eの評価

評価	コメント(評価の考え方)
C	概ね目標を達成できており、ボランティア団体、地域・学校と連携して様々な取り組みを行うことができた。今後、地域の関係機関等とさらなる連携の充実に努めていく必要がある。

【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標(計画)を達成している	b	B
目標(計画)をほぼ達成している	c	C
目標(計画)を達成できていない(努力が必要)	d	D
方法に再検討が必要	e	E

【基本的運営方針】 F 良好な滞在環境の提供

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント(評価の考え方)
附帯施設の 充実度	レストラン・喫茶利用者の満足度	70.0%	74.4%	106.3%	b	<ul style="list-style-type: none"> ・喫茶、ミュージアムショップとも利用者の満足度については、目標を達成している。 ・喫茶及びミュージアムショップを運営しているボランティア団体と日頃から積極的にコミュニケーションを図るとともに、アンケート意見等について情報共有するなど、連携を密にしてサービスの向上に繋がるよう努めている。
	ミュージアムショップ利用者満足度	70.0%	76.2%	108.9%		
	事業者と協力してのサービス向上の実践					
館のホスピタリティ	館内スタッフの対応に関する利用者の満足度	90.0%	89.0%	98.9%	c	<ul style="list-style-type: none"> ・館内スタッフの対応に関する利用者の満足度については、概ね目標を達成している。 ・ホスピタリティの向上に向け、アンケートにおける改善意見等について職員間で情報共有するほか、来館者に対し、丁寧で素早い対応に努めている。
	ホスピタリティ向上に向けた取組み					
施設環境の 保持	施設内外の環境への満足度	90.0%	95.1%	105.7%	b	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内外の環境への満足度については、目標を達成している。また、日常点検や職員による巡回を行うことにより、施設の安全性保持に努めている。 ・突発的に破損不具合が発生したが、展覧会に支障を来さないよう計画的に必要な修繕等を行っている。
	施設安全性保持のための必要な措置					

【基本的運営方針】 Fの評価

評価	コメント(評価の考え方)
C	<p>全般的に概ね目標を達成できており、良好な滞在環境を提供することができた。 今後、より満足度の高い美術館となるよう、改善できるところから取組を進めていく必要がある。</p>

【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標(計画)を達成している	b	B
目標(計画)をほぼ達成している	c	C
目標(計画)を達成できていない(努力が必要)	d	D
方法に再検討が必要	e	E